

妊娠中のRSウイルスワクチン 「アブリスボ®」接種について

2024年8月1日より、RSウイルスに対する母子免疫ワクチン「アブリスボ®」の接種を開始しました。

RSワクチンは妊娠 24 週から 36 週の妊婦に筋肉注射を1回行うことでRSウイルスに対する抗体が母体で作られます。そして抗体が胎盤を介して胎児に移行することで、新生児および乳児におけるRSウイルスを原因とする下気道疾患を防ぐことができます。

- <対象> 妊娠24週～36週の妊婦
(28週～36週が推奨されています。)
- <費用> 33,000円(税込み)
- <日程> 毎週金曜日の13:30～14:00(予約制)
- <接種回数> 1回
- <申込方法> 24週以降の妊婦健診時に医師に申し出て
ください。
- <持ち物> 母子手帳
- <接種方法> 予約日に来院の上、問診票を記載してください。
医師が問診票と体調を確認の上、接種の可否
を判断します。

※急性の副反応確認のため接種後30分程度院内でお過ごしください。

<問合せ>

JR東京総合病院 産婦人科
03-3320-2210(代表)